

川島G、経常益27億円

4―9月 高水準維持

相場高騰映す

非鉄総合商社、川嶋（本社―浜松市、川嶋一義代表）を中心とする川島グループは、2025年4―9月期の

連結業績（速報ベース）で売上高が536億円、経常利益が27億円を計上したことを明らかにした。売上高・経

常利益ともに過去最高を記録した前期並みの水準を維持した。同グループの連結決算は、グループ38社の

決算時期に差異があるため売上高、経常利益共に概算での計上になる。金属事業はアルミな

どの非鉄金属相場の高騰を受け、売上高・利益ともに増加した。貴金属は金相場の歴史的な高騰などの追い風を受け、アンチモンなどのレアメタル事業も好調さを保った。サッシ・t.o.サッシ事業も加工数量を維持し、全体的にも堅調推移した。非金属事業はゴルフやシニアカーなどの事業が堅調に推移し、業績の

安定化に貢献した。下期は相場動向が不透明なことやクロールバール経済が低調に推移する可能性などの不安要因があるものの、通期では前期の売上高1080億円、経常利益52億円を上回る業績予想を据え置いている。来期以降については控えていた新規の投資計画なども、厳選しながらも進める計画を示

す。5―10年先を見据えた計画を中心に検討を進めていく考えだ。同グループはアルミ精錬や貴金属スクラップのリサイクル・リユースなど非鉄金属関連分野で、幅広く事業を展開する総合非鉄リサイクル企業グループ。近年では不動産、レジャー、介護など金属以外にも幅広い分野で事業を展開している。